

募 集

◎大学院生 (社会人)

明 治 大 学 農 学 部 動 物 生 産 学 研 究 室

明治大学農学部動物生産学研究室では、現在の勤務先で働きながら、博士号取得を目指す人を募集します。専門は生産疫学または繁殖疫学および動物福祉です。カリキュラムは働きながら履修できるよう工夫します。25歳以上で、1年以上の畜産関連分野での勤務経験がある人。勤務先の承諾がもらえる人。

予備審査しますので、職務経歴書と志望理由書を以下の宛先に送ってください。

連絡先：額額雄三 (こうけつ ゆうぞう)

〒214-8571 川崎市多摩区東三田1-1-1 明治大学農学部5号館501A

E-mail : koket001@isc.meiji.ac.jp

行事等案内

平成23年度日本家畜臨床学会総会・第42回学術集会開催案内

日 時：平成23年11月12日(土) 13:00～
13日(日) 15:00

会 場：岩手県花巻市 花巻温泉・ホテル千秋閣
〒025-0304 岩手県花巻市湯本
☎0198-37-2150 FAX0198-27-4421

内 容：総会、特別講演、シンポジウム、一般講演、
ランチョンセミナー

【特別企画】

東日本大震災特に放射能汚染による畜産被害の現状と復興めざした取り組み 一福島からの報告—
講演者2名予定

【特別講演】

自給粗飼料中のマイコトキシンが牛の生産性及び疾病発生に及ぼす影響とその防除
和田賢二 (NOSAI山形)

【学術シンポジウム】

牛の低カルシウム血症：基礎と臨床
山岸則夫 (岩手大) 他

【学術シンポジウム】

乳牛における寄生虫駆虫の効果
徳山桂理 (メリアルジャパン) 他、
牛家畜臨床寄生虫研究会共催

【一般講演】 症例報告、研究報告

【ランチョンセミナー】

講演者未定：日本獣医内科学アカデミー共催、
ファイザー協賛

参加費：正会員 15,000円 学生会員 13,000円

内 訳：学術集会参加費 正会員 4,000円
学生会員 3,000円 非会員 6,000円
宿泊費(1泊2食付き) 9,000円(非会員を除く)
情報交換会 正会員 2,000円
学生会員 1,000円 (非会員参加不可)

参加申込送付先：

岩手大学農学部獣医学課程
生産獣医療学研究室 佐藤 繁
(E-mail : sshigeru@iwate-u.ac.jp)

参加申込と締切：

平成23年10月11日(火)～28日(金)

◎会員外の参加希望者は事前に要入会。

詳しくは、学会ホームページ：

<http://news7al.atm.iwate-u.ac.jp/jsvc/>
を参照。

一般講演の募集について

一般講演受付と締め切り：

9月1日(木)～9月22日(木)までに電子メールにて下記のアドレスに送付。講演要旨作成は学会ホームページを参照。

〒034-8628 十和田市東23番町35-1

北里大学獣医学部獣医学科

大動物外科学研究室 渡辺大作

☎0176-24-9360

E-mail : dwatanab@vmaskitasato-u.ac.jp

紹介

◎新製品

ドルベネ注拮抗注射剤 アチパメ® 注

塩酸メドミジンを含む有効成分とする鎮静・鎮痛剤の投与によって鎮静状態になっている犬・猫を早期に正常状態に回復させるための本塩酸アチパメゾールを有効成分とする合成 $\alpha 2$ アドレナリン受容体拮抗薬。

発売日：平成23年8月1日

販売：共立製薬謹

問合せ先：☎03-3264-7556

共立製薬謹 営業技術部

行事等

7月7日：第13回日本獣医師会雑誌編集委員会

7月8日：平成23年度全国獣医師会事務・事業推進会議

7月22日：業務執行幹部会議

7月26日：第4回動物看護職制度在り方検討委員会

行事等案内

東京都獣医師会三支部合同学術講習会 平成23年度Part 1

日時：平成23年8月28日(日) 13:00～17:00

場所：大田区民ホール・アプリコ展示室

大田区蒲田5-37-3 ☎03-5744-1600

演題：臨床に則した心臓病治療のアップデート

講師：上地正実（日本大学 獣医内科学研究室）

参加費：無料（会員以外の方も参加可）

主催：東京都獣医師会 中央、品川、大田支部
（幹事：大田支部）

講演会問合せ先：

山手動物病院 山手 孝

☎03-3771-1313

E-mail：yamate@mxv.mesh.ne.jp

参加の際は、必ず事前に要連絡

平成23年度 文部科学省科学研究費補助金(研究成果公開促進費)補助事業
**生産獣医療における国境なき感染症の流行現況と
 対策に関する国際シンポジウム**

期間：平成24年2月3日(金)～4日(土)

会場：札幌コンベンションセンター (第3会場・特別会議場)

～ 「平成23年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会(北海道)」
 の特別企画として開催します ～

月日	会場No.	演 題	演者(所属)	時 間		
1 目 2 月 3 日 (金)	第3 会 場 (特 別 会 議 場)	開 会	中尾敏彦 (日本産業動物獣医学会会長)	13:00～13:10		
		セッションⅠ 「ヨーネ病」				
		1	欧州における現状と対策	W. Baumgartner (ウイーン大, オーストリア)	13:10～16:20	
		2	北米での流行現況	M. Carter (農務省, 米国)		
		3	日本における対策	百溪英一 (動衛研, 日本)		
				・ 質疑応答		
		セッションⅡ 「生産獣医療に及ぼす感染症の影響」				
		・ 一般発表	演題募集	16:30～19:00		
		・ 意見交換会		19:15～20:30		

2 目 2 月 4 日 (土)	第3 会 場 (特 別 会 議 場)	セッションⅢ 「牛ウイルス性下痢ウイルス感染症」				
		1	欧州における撲滅戦略と新型ウイルス	S. Alenius (スウェーデン大, スウェーデン)	9:00～12:00	
		2	北米における対策	J. Ridpath (農務省, 米国)		
		3	ウイルス伝播の危険因子	G. Gunn (スコットランド農科大学, 英国)		
				・ 質疑応答		
		セッションⅣ 「繁殖障害を引き起こす感染症」				
		1	ネオスポラ感染症	P. Conrad (カリフォルニア大学, 米国)	13:45～15:45	
		2	レプトスピラ感染症	小泉信夫 (感染研, 日本)		
				・ 質疑応答		
		セッションⅤ 「生産獣医療における国境なき感染症対策」				
		・ パネルディスカッション 明石博臣 (日本産業動物獣医学会副会長), 演者全員	16:00～16:45			
		閉 会	佐藤 繁 (日本産業動物獣医学会副会長)	16:45～17:00		

【開催要項(案内)】

- 参加方法：本シンポジウムに参加するためには、学会年次大会への参加登録が必要です。
 本シンポジウムは外国からの参加者及び学会の会員以外の関係者には公開とします。ただし、事前の参加申し込みと、開催当日、受付において身分証明書の提示が必要です。参加申し込みは下記問い合わせ先まで。
- 参加手続き：本シンポジウムに参加される方は、開催当日、シンポジウム専用受付（学会年次大会総合受付に設置予定）において参加手続きを行ってください。Proceedingsを配布します。
- 公用語：講演は英語（同時通訳付）ですが、質疑応答及び一般発表講演は英語あるいは日本語です。なお、発表スライドは全て英語です。
- 本シンポジウムの詳細は、専用ホームページ（<http://jsfavm12.umin.jp/>）をご覧ください。

《本シンポジウムのお問い合わせ先》

安藤貴朗 (酪農学園大学) (国際シンポジウム組織委員会 総務担当)
 E-mail : ando@rakuno.ac.jp TEL&FAX : 011-388-4899

行事等案内

岩手大学農学部 FAMS 第9回研修会

「生食と食中毒」

日時：平成23年10月8日(土) 10:00～17:30

場所：農林水産省共済組合 南青山会館
〒107-0062 東京都港区南青山5-7-10
☎03-3406-1365 FAX 03-3400-5663

主催：岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育
研究センター (FAMS)
Food Animal Medicine & Food Safety
Research Center
<http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/~fams/>

目的：

日本の食文化は、種々の食材を加熱することなく食する「生食」を珍重する傾向がある。食中毒や感染症の原因となる病原体を効率的に排除する調理過程である「加熱」を行わないことから、生食に起因する健康危害は一定頻度で発生してきたと考えられる。食文化を形成する過程で安全に食べるための知恵や、危険な食品を生食しない知恵を日本人は身につけてきた。その一方で、近年食肉の生食に起因する食中毒や、これまで安全と考えられてきた食材の生食に起因する食中毒が発生している。この研修会では、生食に起因する食中毒を科学し、その制御方策を考えたいと思う。また、2011年3月11日に発生した東日本大震災が畜産現場と食の安全に及ぼした影響、及び放射能汚染と農産物に関する話題をトピックスとして紹介する。

内容：

- 1 生食と食中毒 (総論)
重茂克彦 (FAMS 研究員)
- 2 最先端の食肉管理(輸出対応食肉処理施設の実際)
梶田弘子 (岩手県食肉衛生検査所)
- 3 食中毒起因菌の科学
(1) 腸管出血性大腸菌による食中毒と感染症の動向について
寺嶋 淳 (国立感染症研究所)

(2) 鶏肉や牛レバーによるカンピロバクター食中毒
小野一晃 (埼玉県衛生研究所)

(3) 新しい寄生虫による食中毒
鎌田洋一 (国立医薬品食品衛生研究所)

4 腸管出血性大腸菌による食中毒とその対策について
温泉川肇彦 (厚生労働省医薬食品局)

5 トピックス

- (1) 震災の現場報告
①宮城県の現場から 河野充彦 (NOSAI 宮城)
②福島県の現場から 山野辺浩 (NOSAI 福島)
- (2) 放射能汚染と農産物
佐藤 至 (FAMS 研究員)

募集人数：200名 (先着順)

受講料：10,000円 (テキスト代込、申込み受付後に振込用紙を送付 (振込手数料は別途負担))

受講証書：受講者には岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター長が発行する受講証書を授与。

申込方法：

電子メールにより申込み (タイトルを「研修会申込み」とし、参加者氏名、所属、住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレスを下記の申込まで連絡)。

締切は9月22日(木)、それ以前に定員に達した場合、受付を終了。

問い合わせ・申込先：

岩手大学農学部地域連携推進室
〒020-8550 岩手県盛岡市上田3-18-8

担当：伊藤

☎019-621-6108
(10:00～17:00, 土日祝日を除く)

FAX 019-621-6107

E-mail : fams@iwate-u.ac.jp